

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 小児尿管瘤に対する経尿道的切開術後における症候性尿路感染症の発症頻度とそのリスク因子

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 守屋 仁彦 （泌尿器科・講師）

[研究の目的] 小児尿管瘤に対して経尿道的尿管瘤切開術を行った後の症候性尿路感染症の発症頻度とその要因を検討することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

小児尿管瘤に対して平成 6 年 4 月から平成 28 年 4 月までの間に北海道大学病院泌尿器科および関連病院にて経尿道的尿管瘤切開術を行った患者さんのうち、経尿道的尿管瘤切開術後に追加の外科治療を行わず北海道大学病院に通院された患者さんを対象とします。

○利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、手術記録、画像診断結果(超音波検査・排尿時膀胱尿道造影)、症候性尿路感染症の有無と発症時期

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 守屋 仁彦

電話 011-716-1161

FAX 011-706-7853